



# 東京會工会だより

東京會工会事務局 埼玉県久喜市久喜本764-8 田中健一(42E) TEL 0480-21-6006

## 同窓会活動の再開へ



東京會工会会長

田中 健一  
(42年E卒)

陽春の候、皆様健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。桜の開花も例年より十日も早く、入学式には桜の下で記念撮影など行われたものですが、葉桜の下では味気ないですね。

常日頃より東京會工会運営にご支援・ご協力を賜り、皆様に感謝申し上げます。

さて、令和二年一月に日本でも確認された新型コロナウイルス感染症は、今年三月に入って減少傾向にあります。しかし、日本でのこれまでの延感染者数三千三百万人超、不幸にして亡くなられた方も七万四千人程おられます。コロナ感染の波も八波もありました。コロナはインフルエンザの仲間だから、と安易に言われる方もおりましたが、当初薬も治療方法もなく当事者にとっては大変不安な思いをされたことでしょう。

そんな中、東京會工会では二件の行事を開催しました。これは開催場所提供者のご協力があつたからだと感じています。一件は総会です。第六波が減少し始めた六月上野精養軒で開催した総会。従来十人一テーブルを六人で、配膳は個別に、人と人の間にはバリアをして頂きました。

もう一件は芋煮とぶどう狩り&BBQです。神奈川県湘南台の弁慶果樹園で第七波が落ち着き始めた十月に開催。十月に入ってしまったのでぶどう狩りは楽しめませんでした。百人は楽に収容できるドームを私達のグループだけで利用させて頂きました。他に申込みが無かった

のかもしれないが。コロナ禍の中、勇気を持って参加して頂いた皆さんに感謝申し上げます。令和五年度の東京會工会活動は、コロナ禍対応が緩和されることから例年通りの活動を予定しています。皆さんの参加をお待ちしています。

一方、会津でも動きがありました。十月に母校創立百二十周年式典・祝賀会。同窓会総会。今年二月には同窓会役員と来賓が出席しての同窓会入会式。翌日には来賓、ご父兄、在校生も出席しての卒業式。この三年間、出席者を制限しながら開催されていたのが緩和されたのです。

創立百二十周年記念事業として、東京オリンピックボクシング金メダリスト入江聖奈選手を招致して特別講話を開催。会工でのボクシング合宿を行ったこともあり、その縁での講話に至ったのかと思います。初めての講話ということで大分緊張されていたようです。日体大卒業後はボクシングも卒業し、東京農工大学院で大好きな蛙の研究をされるそうです。

同窓会活動を推進していく上で最も重要なものの一つが「同窓会会員名簿」です。原則五年毎に発行されます。平成になってからは、二・七・十四・十九・二十四・二十九と六回発行されています。私が名簿を読む様になったのは、平成八年から東京會工会の案内を一手に引き受け発送するようになったからです。そこで感じたのが平成卒の方々の住所が卒業当時のままになっている方が多い事。

更に住所が会津なのに勤務地が東京等矛盾が多く見受けられました。このことは過去の東京會工会だより十七号でもお知らせいたしました。

私は会長として同窓会本部へ足を運ぶ事が多くなり、その都度名簿の是正をお願いし、対応策なども提案してきました。昨年十一月令和四年度同窓会名簿が発行されました。改善されたのは、不明者と住所不掲載者の区別ができるようになったこと。しかし、卒業時のままの住所改善は進展していませんでした。そこで東京會工会は立ち上がりました。戸野部幹事長渡部副幹事長が中心になり令和四年度同窓会名簿を分析数値化し、同窓会本部の浅田会長、荒井筆頭副会長、木村幹事長、当会から戸野部幹事長、渡部副幹事長、それに私で同窓会事務局で分析結果や課題などを説明し、今後の対応策等について懇談してきました。相手があることなので短期間での解決は困難ですが、やれることから少しでも早く進めて行こう、と言うことになりました。具体的な対応策は模索中です。何か良案がありましたら教えてください。

同窓会名簿への掲載を嫌い、現住所登録をされない方がおられますが、名簿への掲載は本人の意志確認をしますので安心してください。皆さんのお知り合いで同窓生がおられましたら情報提供をお願いいたします。

# 「東京會工会だより」の発行に寄せて



同窓会会長  
浅田 誠  
(43年E卒)

東京會工会の皆様、ご無沙汰を致しておりますがお変わりありませんか。田中健一会長をはじめ、皆様益々ご清栄の事と拝察し、心よりお慶び申し上げます。

会津の方は一月にドカ雪(73cm)が一回降った程度で除雪作業の苦勞も少なく、今後どのような影響を及ぼすか予測出来ませんが、当面は降雪の少ない暖冬会津の生活環境に感謝しているところです。

感謝と言えば、田中会長には本部同窓会の副会長として輩出して頂き遠路足げく各種会議にご出席頂くとともに、会工電友会の先輩の立場からも種々ご助言を頂戴しており、感謝に堪えない次第であります。

加えて戸野部武彦幹事長や渡部雅俊副幹事長(私の剣道部当時の一年後輩)はじめ多くの方々により、同窓会組織の今後の活性化に対する建設的なご提案をいつも拝聴しており、本当に心強い限りであります。

このような「東京會工会」の氣質が

同窓会組織の草創期を担っておられた源泉にあるのかと感嘆しているところでもありません。

昨年六月十八日開催の貴会の三年ぶりの対面形式での総会・懇親会が六百通の案内発送を基に開催されたとお聞きし、本部同窓会としても、一考必要な思案でもあると認識を強くした次第です。

一方、昨年同窓会事業において全国規模で取り組んだのが『母校創立百二十周年記念事業』の取り組みであります。貴会からも多くの方々から物心両面にわたっての寄付やご支援ご協力を頂戴し、今頃になって本当に申し訳ありませんが本紙面をお借りし、心から厚く御礼を申し上げます。お陰様で、関係各位の綿密な検討ご尽力により、当初予測以上の取り組みが出来ましたことは、この上ない感謝の気持ちでいっぱいでありませぬ。

中でも圧巻は当初、対象者を捜し当てるのが極めて困難と思っていた「百歳以上の卒業生」を貴会からの情報提供を受け、大阪府吹田市在住の神田忠志大先輩に表彰状を授与する事が出来、後日表彰状を手にしたお元気な写真をお送り頂き、感無量な思いであると共に、前段の電話での出席打診の時の話を思い出し心強く、そして更なる奮起のエネルギーを頂戴した思いでありました。貴会のこの取り組みは、百二十周年記念事業に大きく花を添えて頂き、御礼の言葉も見出し得ません。

今後とも引き続きのご示唆を頂戴すると共に、ご協力をお願いする次第であります。

今回の一連の取り組みで意を強くする事は、「組織の維持・向上・発展には『人の和』が何程大切か」を貴会の活動よりしみじみと痛感したところでもあります。

私も地元で小中学校の同級生と、更には母校のクラスメイトと一々二ヶ月毎(現在はコロナ禍の影響で開催も間延びした状況にあります)に、ミニ同級会を開催しており、『人の和』の重要性大切さを今回の百二十周年記念事業の取り組みや、コロナ禍の影響によって認識を深める機会になったところでもあります。

結びに同窓会創設当時から関わりのから、今後とも貴会とは連携を密にしなご支援ご協力頂く事をお願い申し上げますとともに、貴会の今後益々の御隆盛と会員皆様方の御頭影、ご多幸をご祈念申し上げ、貴誌発行にあたってのご挨拶と致します。

共に頑張りましょう!



下記QRコードを読み取ると、会工ホームページに入れます。同窓会のページもあります。



# 会工 百二十周年を迎えて



会津工業高等学校  
校長 松本 善法

東京會工会の皆様には、日頃より母校の教育活動に御協力と御支援を賜りまして心より感謝申し上げます。

さて、令和五年二月二十八日に執り行われました、本部同窓会入会式には東京會工会より田中会長ならびに戸野部幹事長、渡部副幹事長にご出席頂き有り難うございました。式では、二百三十名の新たな同窓生を温かくお迎えいただき感謝申し上げます。

卒業生の就職者は公務員を含めると百五十四名で、その中で県外就職者は六十七名となりました。半数近くは県外に就職いたしますので、各企業で先輩が入社した際には、よろしくお願ひいたします。

令和四年度、新入生は、新しい制服で四月八日入学式にて二百名を迎え、全校生徒は六百二十七名（男子五百七名女子百二十名）、全教職員八十一名の合計七百八名で教育活動がスタートしました。今年度も新型コロナウイルス感染症に伴い、さまざまな教育活動に制約がされましたが、徐々にではあ

りますが通常に近い形での開催できるように緩和されています。その状況下にしましたが、入学式をはじめ企業説明会、中学生一日体験入学、インターシップ、体育祭、修学旅行、遠足、卒業式と何とか学校行事を実施することができました。

さて、生徒の活動状況ですが、部活動では、陸上競技部で男子八種競技やボクシング部、自転車競技女子個人で東北大会出場を果たしました。さらに全国インターハイには、ボクシング部と自転車競技で出場し、自転車競技で女子個人ロードレース第五位入賞という素晴らしい結果となりました。その他の部活動では、サッカー部が、全国高校サッカー選手権県大会にてベスト十六。バレーボール部では、福島県総合体育大会にて第三位、全日本バレーボール高等学校選手権大会福島県代表決定戦へ出場。陸上部が、福島県高校駅伝大会で第七位などの好成績を残しており、部活動の活性化に大きく貢献しています。

また、資格取得では、ジュニアマイスター顕彰制度での特別表彰二名、ゴールド三十名やシルバー二十八名、ブロンズ十七名と多くの生徒が顕彰を受けました。

各種コンテストにおいても、高校生ものづくりコンテストや吹奏楽コンクールなどで県大会に出場しているなどの

活躍もあり、文武両面で素晴らしい成果に繋がった年だと感じています。

創立百二十周年記念式典が十月十五日（土）多くの来賓を招待し厳粛に開催できました。「東京オリンピックボクシング女子フェザー級金メダリストの入江聖奈さん」による記念講話では、入江聖奈さんのボクシング競技を通しての考え方などが、生徒達に浸透するような講話で本当に良かったと思っています。

この創立百二十周年を迎えるにあたり、記念事業として記念式典をはじめ、スチールテント製作、クリアファイル制作、記念誌発行、同窓会会員名簿発行と賞状盆製作などを手がけ、記念祝賀会を含めて、すべて滞りなく実施する事ができました。これもこの事業に携わった生徒会や同窓会、実行委員会の多くの皆様のご尽力の賜であり感謝申し上げます。

最後になりますが、本校が地域の方々から大変期待されている学校であると、この一年の様々な取り組みを通して益々実感しております。今後も、「社会に貢献できる生徒の育成」に努め、機会があれば新しい視点での取り組みをしていきたいと考えておりますので、さらなるご協力をお願い申し上げますとともに、東京會工会が益々ご発展されますことをご祈念申し上げます。



入江聖奈選手

### 令和5年度東京會工会顧問

名誉顧問	室井 忠六 (24T)	顧問	五十嵐清夫 (33K)	顧問	伊藤 孝行 (38M)
顧問	石綿 弘 (34T)	顧問	岡島 文弘 (29C)	顧問	金子 昌輝 (32A)
顧問	鵜川平四郎 (21L)	顧問	田場川善雄 (27M)	顧問	五十嵐昭夫 (35A)

### 令和5年度東京會工会役員

会 長	田中 健一 (42E)	会計幹事	鈴木 邦男 (40M)	常任幹事	大竹 光弥 (46C)
副会長	堀 雅宏 (36E)	会計幹事	内川 義則 (43E)	常任幹事	佐藤 賢二 (43G)
幹事長	戸野部武彦 (40M)	会計監事	邊見 輝夫 (34K)	常任幹事	松本 義重 (43G)
副幹事長	中島 政彦 (41G)	会計監事	山田 利廣 (43K)	常任幹事	渡部 俊一 (43G)
副幹事長	渡部 雅俊 (44M)	常任幹事	猪俣 和男 (41T)	常任幹事	葉室 忠 (44D)
副幹事長	水上 強 (46M)	常任幹事	石本 清八 (39K)	常任幹事	坂本 栄吉 (40A)
		常任幹事	佐藤 武 (37C)	常任幹事	内芝 良吉 (46A)

### 東京會工会の活動

一、令和4年度活動報告  
 令和4年度活動は、新型コロナウイルス感染症まん延のため、参加者の健康リスクを考慮し、一部の活動が中止となりました。(★中止)

#### 令和4年

- ① 4月20日(水) 「東京會工会だより」(24号発行)
- ② 4月23日(土) 第1回役員会 (浅草文化観光C)
- ③ 5月9日(月) 創立百二十年記念事業実行委員会 (母校)
- ④ 5月 日(金) (未定)
- ⑤ 5月 日(土) (郡山市) ★第34回東地区ゴルフコンペ
- ⑥ 5月21日(土) (未定) ★郡山会工会総会
- ⑦ 6月12日(日) (上野・精養軒) ★第4回囲碁・将棋大会
- ⑧ 6月18日(土) (上野・精養軒) 在京会津高校同窓会総会
- ⑨ 6月19日(日) (名古屋市) 東京會工会総会
- ⑩ 6月 日( ) (大阪市) 東海会工会総会
- ⑪ 7月5日(火) (母校) ★近畿会工会総会
- ⑫ 7月17日(日) (浅草文化観光C) 創立百二十年記念事業実行委員会 第2回役員会

- ⑬ 8月4日(木) (母校) 創立百二十年記念事業実行委員会
  - ⑭ 9月3日(土) (鎌ヶ谷市大山園) ★梨狩り
  - ⑮ 9月4日(日) (上野・精養軒) ★東京若商会総会
  - ⑯ 8月4日(木) (母校) 創立百二十年記念事業実行委員会
  - ⑰ 10月3日(月) (母校) 創立百二十年記念事業実行委員会
  - ⑱ 10月9日(日) (湘南台弁慶果樹園) ぶどう狩りと芋煮&BBQ
  - ⑲ 10月15日(土) (母校南体育館) 創立百二十年記念式典
  - ⑳ 10月15日(土) (会津若松市) 会工同窓会本部総会
  - ㉑ 10月21日(金) (富士平原GC) ★第20回西地区ゴルフ大会
  - ㉒ 12月3日(土) (浅草文化観光C) 第3回役員会
  - ㉓ 12月9日(金) (母校) 創立百二十年記念事業実行委員会
- 令和5年
- ㉔ 1月21日(金) (場所未定) ★顧問・幹事合同新年会
  - ㉕ 2月28日(火) (会津工業高等学校) 同窓会入会式(二三十名) 卒業生にクリアファイル贈呈・PR
  - ㉖ 2月28日(火) (鶴翔会館) 本部三役との懇談・名簿の充実等
  - ㉗ 3月1日(水) (会津工業高等学校) 母校卒業式
  - ㉘ 3月12日(土) (浅草文化観光C) 第4回役員会

一、令和5年度活動(案)
令和5年度活動は、例年通りの開催を計画いたしました。新型コロナウイルス感染症は終息の方向とみられますが、状況によっては一部活動を中止する事もあります。

- 令和5年
① 4月15日(土) 在京会津高校同窓会総会
② 4月20日(水) 会報「東京會工会だより」25号発行
③ 4月22日(土) (浅草文化観光C) 第1回役員会
④ 5月27日(土) (浅草雷門地区) 第5回囲碁・将棋大会
⑤ 6月5日(月) (取手桜ヶ丘GC) 第35回東地区ゴルフコンペ
⑥ 6月10日(土) (上野・精養軒 東京若商会総会)
⑦ 6月17日(土) (上野・精養軒 東京會工会総会)
⑧ 6月18日(日) (名古屋市) 東海會工会総会
⑨ 7月15日(土) (浅草文化観光C) 第2回役員会
⑩ 9月2日(土) (鎌ヶ谷市大山園) 梨狩り
⑪ 11月1日(日) (湘南台・弁慶果樹園) ぶどう狩りと芋煮&BBQ
⑫ 10月20日(金) (富士平原GC) 第21回西地区ゴルフ大会
⑬ 10月21日(土) (会津若松市) 本部同窓会総会

- ⑭ 11月4日(土) (巢鴨・染井霊園) 松井春次翁没70回忌墓参
⑮ 12月2日(土) (浅草文化観光C) 第3回役員会
令和6年
⑯ 1月20日(土) (場所未定) 顧問・役員合同新年会
⑰ 2月29日(木) (会津工業高等学校) 同窓会入会式
卒業生にクリアファイル贈呈・PR
⑱ 3月1日(金) (会津工業高等学校) 母校卒業式
⑳ 3月9日(土) (浅草文化観光C) 第4回役員会

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 13 T 春日盛八氏 (令和四年逝去確認)
27 T 相田武志氏 (令和四年逝去確認)
29 T 小林 稔氏 (令和四年逝去確認)
29 T 荒木靖夫氏 (令和四年逝去確認)
20 K 岸 傳三氏 (令和四年逝去)
29 T 大竹 武氏 (令和四年逝去確認)
27 K 湯田俊章氏 (令和四年逝去確認)
30 K 加藤 寛氏 (令和四年逝去確認)
30 K 坂本一望氏 (令和四年逝去確認)
30 K 佐藤芳之氏 (令和四年逝去確認)
31 K 星 定雄氏 (令和四年逝去確認)
34 K 堀田 耕氏 (令和四年逝去確認)
37 K 白井洋二氏 (令和四年逝去確認)
13 C 菊地三郎氏 (令和四年逝去確認)

- 14 C 羽賀末吉氏 (令和四年逝去確認)
15 C 原 忠伍氏 (令和四年逝去確認)
18 C 佐藤弘次氏 (令和四年逝去確認)
25 C 赤津仲雄氏 (令和四年逝去確認)
26 C 吉田 寛氏 (令和四年逝去確認)
27 C 秋山利喜氏 (令和四年逝去確認)
33 C 白濱紀男氏 (令和四年逝去確認)
21 M 須磨時夫氏 (令和四年逝去確認)
22 M 馬場昭夫氏 (令和四年逝去確認)
24 M 外川 清氏 (令和四年逝去確認)
25 M 高橋敏夫氏 (令和四年逝去確認)
27 M 坂内哲雄氏 (令和四年逝去確認)

- 40 M 秋山隆司氏 (令和四年逝去確認)
40 F 佐藤考基氏(平成三十年二月逝去)
27 E 佐藤達也氏 (令和四年逝去確認)
27 E 新藤 健氏 (令和三年八月逝去)
31 E 佐藤光衛氏 (令和四年逝去確認)
32 E 金子 進氏 (令和四年逝去確認)
37 E 星 実氏 (令和四年逝去確認)
31 A 角田新作氏 (令和四年五月逝去)
31 A 山内清隆氏 (令和四年逝去確認)
33 A 長峰 勲氏 (令和四年逝去確認)
36 A 永井克哉氏 (令和四年逝去確認)

令和4年度決算(案)

自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

収入総額 1,367,475
支出総額 1,061,453
次年度繰越金 306,022

Table with 5 columns: 収入の部, 令和4年度予算, 令和4年度決算, 比較増減, 備考. Rows include 年会費, 同窓会助成金, 寄付金, etc.

収入: 決算-予算=減(△)

Table with 5 columns: 支出の部, 令和4年度予算, 令和4年度決算, 比較増減, 備考. Rows include 会報「東京會工会だより」, 通信印刷費, 役員会会議費, etc.

支出: 決算-予算=減(△)

# 東京會工会

## 令和四年度総会開催される

六月十八日土曜日十二時より、三年振りに東京會工会総会が若葉が眩しい上野の杜「精養軒・梅の間」で開催されました。

コロナ禍の中、何人の方に出席して頂けるのか心配でしたが、ご来賓六名、会員三十二名の総勢三十八名の出席となりました。ご来賓には、松本学校長、浅田同窓会会長、木村同窓会幹事長、東海會工会古川副会長、そして同郷高校の在京会高同窓会荒井副会長、東京若商会五十嵐幹事長。会員は出席者最長老の大友昭三郎（28E）さん筆頭に三十二名の方々に出席して頂きました。案内発送直後は例年のような返信が少なく、今年はやはりダメかと諦めたくらいでした。

総会は、令和三年度の活動および決算報告、今年度の活動および予算について審議し承認されました。また、今年度は役員改選の年であり、執行部より役員案（顧問・役員が全員留任）が提案され、承認されました。

総会後は、出席者全員で記念撮影を行い、引き続き小倉喜久男（42C）さんの「小倉喜岳歌謡ショウ」を開催、会津にちなんだ唄を披露して頂きました。



休憩後、お楽しみみの懇親会が五十嵐清夫顧問（33K）の乾杯発声で開始されました。途中、サプライズで米寿の大友昭三郎さん始め、傘寿、喜寿、古希の九名の方々に「長寿祝として「紅白饅頭」贈呈し、長寿の秘訣を各人より伺いました。

その後、恒例となっている抽選会を実施。会津の名産品を十名の方々にプレゼント。十四時三十分過ぎ、今年度の総会開催そして再会を誓って散会となりました。

今回の総会はコロナ禍での開催と言うこともあり、校歌や応援歌はCD演奏に合わせて黙唱。テーブルは例年十人一テーブルのところ六人、料理は個別は配膳。総会はマスク着用での審議・・・等、今までとは違った総会でした。



令和五年度総会は、六月十七日土曜日上野・精養軒で開催いたします。ご友人をお誘いして是非ご出席をお願いいたします。



右：小倉喜岳歌謡ショウ  
上：五十嵐清夫顧問  
左：最長老の大友昭三郎氏（左から3人目）



# 芋煮とぶどう狩り

## &BBQ開催

十月九日曜日、恒例の「芋煮とぶどう狩り&BBQ」を神奈川県藤沢市湘南台の「弁慶果樹園」で開催しました。会場はドームになっており、雨に左右されること無く楽しむ事ができます。当日の天気予報では傘マークも出ていましたが、雨には見舞われず曇空の合間に陽も差し、気温も十九度と過ごしやすい一日でした。

9月に入りコロナウイルス感染症第七波も減少傾向になって来たため、開催日を少し遅らせ十月の開催となりました。会場は参加者同士の距離が十分確保出来る事が確認できましたので、令和元年以来三年振りに開催する事にしました。当日は百人以上入れる会場が東京會工会だけでしたが、

田中会長の挨拶で始まり、最年長参加者の樽川昭雄氏(28A)の乾杯の発声で開宴となりました。

会津の芋煮には、豚肉、里芋、大きななめこが欠かせません。当日は中島副幹事長の奥さまや大竹常任幹事の奥さま方に早くからお手伝いを頂き、美味しく頂戴する事が出来ました。特に大竹常任幹事の奥さまには、食材の買い出しから下ごしらいまでして頂きました。有り難うございました。

また、強清水から取り寄せた饅頭とニシンの天ぷらも本会の芋煮会に欠かすことが出来ません。更に飲物は会津の清酒です。芋煮を食しながら饅頭の天ぷらを食べ、会津の酒を飲み交わす。会津人ならではの風景ではないでしょうか。パーベキューも焼き上がり、つまみには不足ありません。今回開催日が遅くなったことで、お題のぶどう狩りができませんでした。しかし、園に取り置きがぶどうがあつたので購入。それと会津のお土産を景品に抽選会を開催。抽選のお手伝いは同伴参加の子供達にお願いしました。

お腹を満たされた子供達は、広い農園内を走り回り昆虫採取に夢中な様子もありました。

お酒が底をついたところで、満腹感のお腹を抱えながら全員で記念撮影。その後、顧問の伊藤前副会長(38M)の先導で校歌を斉唱。続いて大竹常任幹事の先導でガンバレ応援歌を合唱し、散会となりました。

令和五年度は十月一日(日)開催を予定しております。ご都合をつけて是非ご参加をお願いいたします。



抽選会



# 東京會工会の 灯を更に大きく



幹事長  
戸野部 武彦  
(40年M卒)

かねてから会員の拡大について同窓会本部との意見交換を行いたいとお願

いしていましたが、二月二十八日の同窓会入会式後に行う事になり、東京會工会から田中会長、渡部副幹事長と共に出席して参りました。また、折角の機会なので同窓会入会式、翌日の卒業式にも参列し、貴重な体験をさせて頂きました。

新制高校になった昭和二十四年三月からの卒業生は二万四千六百三十八人を数え、今春も新たな卒業生が社会への第一歩を踏み出しました。

卒業式に臨むため、校長室を出て南に進むに従い、高校三年の時に一棟のみ真新しい建物「現在の南一棟？」に三年生の何クラスかが木造教室から移動した記憶が蘇りました。

我々の在校時には、十一科、全校生で約千五百名、先生方も二百名以上で現在の鶴翔会館は当時体育館でした。街には舟木一夫の「高校三年生」が流れていました。

現在でも当時の襟章略号のアルファ

ベット順 T L K C G M F E D A S がスラスタと出てきます。(Sは産業科で、Sが電気工事課程、Wが溶接課程)

今年の卒業生は二百三十名、広い南体育館で催された卒業式は全校生、来賓、ご父兄が見守る中で行われ、卒業生答辞が心に沁みました。小生はひとり娘の卒業式さえ出席した記憶がなく、愚妻によると出張等のために不在だったとの言葉でした。

さて、母校も創立百二十年(明治三十七年四月開校)を迎え、創立当初からの卒業生も約三万名を数えています。明治四十年に第一回卒業生として植村寅生氏が上京し、発足させたのが東京會工会の前身、東京福工会(明治四十年九月創設)でした。その東京會工会は昨年百一周年を迎えました。この伝統と歴史のある東京會工会を次の世代に繋ぎ、灯を更に大きくするために、会員の拡大が必須となっています。

現在の東京會工会の会員登録は二百五十名程ですが、総会への出席者は淋しいもので百名を下回っています。昭和二十九年の総会では、出席者は百六十一名であることが『東京會工会々々百周年記念誌』(平成二十三(二〇一一)年六月十八日発行)に残されています。現在では想像出来ないほどです。

今は、会員を増やすための方策を探っています。その一つとして、若年層の経済的負担を少なくするために会則を

改正し、卒業後十年以内であれば年会費を免除することにしました。ただ、昭和五十年代以降、さらに平成と令和と続く卒業生の現住所は、卒業時のまま変更されていないことが昨年発行の同窓会名簿から知ることが出来ました。如何に卒業後の現住所を把握するかが最重要課題であることを、今回の本部役員との意見交換会で確認しました。

このままでは、入会案内や会の活動を知らせる「東京會工会だより」を送ることも出来ません。また、若年層への勧誘も必要ですが、次の役員を引き受けてくれる五十〜六十歳代の方々に入会して欲しいと強く願っています。

小生は東京會工会総会に卒業してすぐに一、二回は出席しましたが、その後ご無沙汰していました。五十歳過ぎに同クラスの鈴木邦男君が東海會工会から東京に異動してきて、同クラスの杉原努君も東京會工会役員会で良く会っているとの連絡があり、総会に出席するようにになりました。六十歳を過ぎた東

日本大震災の年に前掲『東京會工会々々百周年記念誌』の編集に携わり、前会長荒井士郎氏に代わり田中健一氏が会長を引き受けられることになり、小生も幹事長に推され引き受けました。現在の役員の方々は五十から六十歳の時に引き受けられています。

今年も六月十七日(第三土曜日)上野・精養軒で総会が開催されます。多くの會工健児が集う事を祈念しています。皆様の参加をお待ちしています。

余談として

三月十五日付け日経新聞に「よせがき酒場、旧縁つなぐ」なる記事に目が留まりました。ノートの第一号は千九百八十七年福岡県の高校で九州料理の店ということもあり、同校出身者がよく足を運んでいた。

常連客から「伝言ノートが欲しい」と言われて作ったのがきっかけ。やがてノートに気づいた福岡の別の高校出身者が「なぜ、うちのがないんだ」と、今では三千四百冊超。興味をそそられたので我が校は？と・二千二百二十四番目に。どのような同窓の方が寄った？場所は新橋「有薫酒場」です。行かれた方はいらっしやいますか？



# コロナ禍で 私達が学んだこと



副会長

堀 雅宏

(36年E卒)

およそ三年の間に八波に及ぶ新型コロナウイルス感染症の流行も、今度こそはようやく治まり（普通のインフルエンザ並になる）つつあるようです。東日本大震災以来、多くの人々が例外なく影響を受けた災禍でした。

私達の東京會工会も、会長のご挨拶にもあるように活動が滞らざるを得ませんでした。いま振り返ってみて、私達がコロナ禍の経験から学んだことをいくつか挙げてみたいと思います。

コロナもインフルエンザの一種ですが、流行当初は、未知への遭遇ではないですが、今から見ると一斉休校などに象徴されるように不適切な対応もありました。一方、「季節性インフルエンザウイルスでも年間五千人以上も亡くなる年もあったのだから、コロナを特別視するのは適切ではないのではないか」という見方もありました。しかし、インフルエンザの変異が百年に数回なのにコロナは毎年のように変異し、個人の免疫やワクチン対応の力を殺ぎ、また、未発症の感染者の存在（高齢者二十%、全体では三十%とみられてい

ます）も感染防止を難しくし、重症化率や後遺症も考慮するとやはり特別視する意味はあったと言えましょう。

コロナウイルスの専門家も含め、当初はその特性をよく知らなかったために、例えば「コロナは飛沫感染か空気感染（微小浮遊粒子）か」という議論もありました（実際は両方）。空気感染だとすると、マスクには漏れがあるために完全には防げないので、WHOを含めてマスクを推奨しない専門家もいました。しかしその後、調査研究が進み、マスクの有効性が確認され、広くマスクが推奨されて現在に至っているのはご承知の通りです。

私達が実践してきた三密（密閉・密集・密接）回避は、日本発の対策で、それなりに感染を減らせたようですが、それを検証したデータはあまり知られていませんでした。アルコール洗浄は、やり易いのでどこでもやっていました。が、今回はあまり役に立っていないには見えませんでした。また、マスクと換気で防げたのに多人数の集会を一律禁止したのも誤りだったと言えます。最も愚かだった対応は、亡くなればウイルスは患者から発散しないにも関わらず、遺族を会わせなかったことです。

政府が集めた専門家達の樂觀視により、当初感染拡大を防げないというミス（検査数を増やさないとにより）が繰り返されたことと批判する専門家の言をお借りすると、「大規模集約医療施設の準備、検査拡充、検査キット増産、

薬の確保です。時間がたてば自然に収まるというのは樂觀視であり、現実的ではない。事態が悪化しないような体制を整えることが必須であった。」となりませんが、終盤はかなり実施されるようになりました。

筆者自身も八波では発症してしまいました。私達は「恐れず、侮らざ（正しく恐れる）」だと思いましたが、私達はコロナ感染の直接的影響もさることながら、感染の恐怖からくる人間関係や、閉じこもりによる身体や精神面への影響も少なからずあることも知りました。

しかし、私達は何よりもコロナに負けてはならず、これからも同窓会の灯を灯し続けなければならないと思えます。

## 東京會工会の記念品

### タオルとクリアファイル



東京會工会名入りタオルは、平成十六年荒井前会長の提案で母校発展協力一環として、学業や運動で優秀な成績を修めた卒業生に贈呈されたのが始まりです。その翌年平成十七年三月の卒業生からは、東京會工会のPRを兼ねて全員に贈呈するようになりました。また、平成十八年度からは総会等イベント参加者にも配られるようになりました。更に平成二十五年度まで希望者

には有償でお分けしていました。卒業生には何十年か後に東京會工会の存在を思い出す縁になり、会員や関係者には会に親しんで頂ける一品になることを願って発案されたようです。

タオルは目の細かいガーゼに近い表地と通常のタオルの裏地から出来た品質の良いものです。表地には会津工業高等学校の紋章と、先年亡くなられた五十嵐栄（23T）さんの「いつまでも青春であれ」の詩の一節がデザインされています。沢山お持ちの方は二枚あるいは四枚を縫い合わせればバスタオルにもなります。

この記念品は令和三年からクリアファイルに替わりました。表面に会工のマーク、裏面に「校歌・応援歌」（白色）と「至誠勤労・文武両道」（黄色）の文字が記された二種類。タオルと同様現在もイベント時に配られています。



# 闘将 大八木監督(駒澤大学)

## 大学駅伝三冠なる

令和三年度、惜しくも三冠を逃した大八木監督(52T)率いる駒澤大学は、念願の大学駅伝三冠を達成しました。お目出とうございます。

四年度も優勝の呼び声が高かった駒澤大学は、三年度逃した初戦の出雲駅伝(十月十日出雲大社)出雲ドーム)で、一区こそ二位で襷を繋ぎますが、二区で首位に立つとその後は首位を明け渡すことなく、二位の國學院大學に五十二秒の差をつけ大会新記録で優勝し、昨年の雪辱を果たしました。

第二戦となった全日本大学駅伝(十一月六日開催、熱田神宮)伊勢神宮)では、一区は四位と遅れましたが、その後順位を上げ三区で首位に立つと、二位の國學院大學に四分三十九秒の差をつけ、こちらも大会新記録で危なげなく優勝し二冠を達成しました。

年が明け、箱根駅伝(一月二・三日開催、大手町)箱根)大手町)で大学駅伝三冠に臨みました。一区では強豪校がお互いにけん制する中、飛び出したのは、関東学連選抜(育英大学)の選手で二十キロメートル過ぎまで独走していましたが、後半追い上げた明治大学が首位、駒澤大学は二位で襷を繋ぎました。駒澤大学の二区はエース田

澤廉選手。田澤選手は十二月初旬にコロナに感染し万全の体調ではなかったようで、一度は首位に立ちますが、三区手前で中央大学に抜かれ二位で三区に襷を繋ぐと、三区も二位。四区は期待の鈴木芽吹選手で首位に立つと、五区は山登りでも首位を明け渡すことなく芦ノ湖のゴールテープを切り、二位の中央大学に三十秒の差をつけ、十九年振り四回目の往路優勝を飾りました。

翌日の復路を首位でスタートした駒澤大学は、六区の下下りで伊藤蒼唯選手が区間一位で七区へ襷を繋ぐと、その後の選手も堅実に走り、首位を明け渡すことなく二位の中央大学に一分四十二秒の差を付けて読売新聞社前のゴールに飛び込み、見事二年振り八回目の総合優勝を飾ると共に、史上五校目となる大学駅伝三冠を達成しました。区間一位は一人だけでしたが、全員が区間五位以内と駒澤大学の総合力が発揮されました。また、今年、沿道での声援が戻り、これも選手の力になったかと思えます。

「平成の常勝軍団」と呼ばれた駒澤大学ですが、その後の低迷期からの復活。そこには、大八木監督の「自分自身が変わるう、変わらなければならぬ」との心境の変化があったと著書で述べています。これまでの一方通行の指導方法から、選手に考えさせる指導へ。この結果が大学駅伝三冠の快挙に繋がったと思います。

ゴール後の優勝インタビューで、大

八木監督から今年度で監督を勇退し、今後は総監督として世界を目指す田澤選手らの指導にあたること発表されました。大八木監督の「男だろ！」が聞けなくなるのは寂しい気もしますが、今後も大八木監督の活躍に期待しています。同窓生一同、応援しています。

これから時間に余裕が出来ましたら、六月第三週の土曜日は東京會工会の総会です。是非参加をお待ちしています。

城西大学四年の木村吉希選手(H31C)ですが、復路の十区にエントリーされていましたが、当日のエントリー変更で残念ながら箱根駅伝を走ることはいけませんでした。今後の活躍に期待したいと思います。

## 私の会津工業高校は

### 山岳部でした



常任幹事  
内芝 良吉  
(46年A卒)

46A東京會工会常任幹事の内芝です。今年七十歳(古希)になります。同期四十六年の方が二人いますが、役員の中では一番の若手?まだ働いています。が、時々人生を振り返ってみますと、結構面白く過ごせたようです。キーワー

ドは幾つかあって、「磐梯山の猪苗代出身」そして「会津工業建築科+山岳部」が人生のスタートラインでした。

今は日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区となり、色々と変わりましたが昭和四十六年「住友金属工業(株)鹿島製鉄所」に入社できたのも山岳部顧問の鈴木先生(故人)の勧めでした。「会工建築科」の要素もありましたが、部活の顧問は神の声でした。「山岳部卒業です」と言っていた時代もありました。

卒業して五十年過ぎて山は変わっていません。帰省して磐梯山を眺めると、山岳部の三年間を思い出します。片道約二時間(自転車+列車+徒歩)の通学でした。部活後の夜行列車?での通学は今思えばなかなか良い時間でした。でも冬の雪道通学は大変でした。自然相手のスポーツは色々あります。が、「登山」は総合的に見て最高です。「同じ釜の飯」の意味も重要です。献立・調達・鍋釜担いで運搬・調理喫食と大事な「食」に対していつも真剣でした。非常食の対応も重要。山での遭難は×。登山中、現在位置の確認は山での基本(普段でも北の方角は意識の中にあります)。天気凶も作成し、風や雲の流れでの天気予測も不可欠。最近の予報はすごい。

山での自然への謙虚な姿勢は社会人になってからも変わらぬに、と思っています。鹿嶋市の会社に入ってから山は遠くなりましたが、友人と磐梯山・

# 空手道と人生



常任幹事  
猪俣 和男  
(41年丁卒)

安達太良山、そして富士山登頂も体験できました。  
建築科に入り、山岳部に入部していなければ今の仕事も鹿嶋での生活も無かったと思うと、不思議な縁の積み重ねによるものです。全てに感謝です。

昭和四十五年東海大学政治経済学部卒、公益社団法人日本空手協会総本部、溝悠会会長（一般会員の会）、段位七段、（空手を始めて五十五年稽古、資格…指導員、審査、審判のトリプルAを目指す。他流派…和道会三段、全空連三段、また、他大で経済の卒論作成中）

戦後の団塊世代に生まれ、どこに行っても競争の世界があり、高度成長と共に生き、ジャンボ機が就航し、就職し、夢のある時代だった。また、昭和四十一年のキューバ危機、翌年の日米初テレビ中継では「ケネディ大統領暗殺事件」、そのテレビを見てショックを受け、祖父さんに走って知らせに行ったのを覚えている。昭和三十九年授業中にあった「新潟地震」、第八回東京オリピック開幕時、喉頭癌の池田総理の

顔を思い出す。その後、バブルがはじけ、デフレ、少子高齢化の時代で失われた三十年とも言われています。

また、コロナ禍で、昨年のロシアのウクライナ侵攻は、国家の生き残りが問われ、グループ化が問われ、それに本気度も問われている。

私が東海大学政治学科に入学したのは、松前重義総長への憧れと、また、政治家になりたい希望があった。偶然にもそこには、早稲田から来られた社会哲学の松田治一郎教授で、元衆議院の渡部恒三氏と同じゼミの教授であり、政治学は吉村正教授より学んだ。

では、当時の空手道の評判は低いもので、富田常雄氏の小説「姿三四郎」の中では、柔道をやるやつは、良い人間。空手をやるやつは悪い人間と印象付けられていた。姿三四郎のモデルは「西郷四郎」であった。入学時空手部の一年先輩に聞いたところ、雰囲気はお勧め状態ではなかったもので、一年生の後半少林寺拳法部に入部したが会わず退部。二年生の春から日本空手協会秦野支部道場で三年間丹沢の山々を見ながら稽古をし、卒業した。後に水道橋駅近くの日本空手協会総本部道場の会員となるが、しかし、総本部の稽古は血の気の多いところであった。後に移転し、恵比寿、飯田橋、後楽園近くの後楽と移り、稽古も穏やかになった。

その間、初代主席師範が亡くなり、自己主張が始まり、流派内の分裂があった。

年間で大きな大会は「内閣総理大臣杯全国空手道選手権大会」と「文部科学大臣杯小学生・中学生全国空手道選手権大会」がある。これらの大会は全国四十七都道府県支部から選ばれた者が参加可能になります。他に熟練者全国空手選手権大会もあり、それに世界大会は二年に一度開催される。

日本空手協会と他流派の大きな違いは「研修制度」にある。大学を卒業後、その一般でも二年間の研修を受け、試験を受け合格し指導者になる。試合ルールは「極め」を重視し「一本勝負」で、それに基本、形、組み手を三位一体と云い術から道へ。日本武道の特徴は人間修養を目的とし、人間性を高めることで、日々稽古に励んでいる。中山正敏先生は「空手道の究極の目的は人に勝つことではなく、己に克つことである」という言葉を残しています。稽古の始まりは、神前と先生方に挨拶の礼をし、稽古の終わりに「道場訓」を正座して言う。

- 一、人格完成に努むること。
- 一、誠の道を守ること。
- 一、努力の精神を養うこと。
- 一、礼儀を重んずること。
- 一、血気の勇気を戒めること。

やはり思い出すのは、松前総長の言われた若き日に何時希望を星に繋げ、と、船越義珍先生の「空手に先手なし」である。

しかし、試合は勝たねばならない。

## 短 信



令和四年度皆さんから頂いた一言です。

▼石綿 弘 (34 T)

お世話様です。東京會工会のご発展を祈念しています。腰部狭窄症と仲良くするよう努めています。機会があればまた出席したいと思えます。

▼大八木 弘明 (52 T)

試合合宿のため参加できません。

▼鶴川 平四郎 (21 L)

老齢のため欠席致します。(93歳) 皆様によるしくお伝えください。

▼紀 秀三郎 (37 L)

お世話になってます。最近出かけるのが億劫になり、何とか元気に暮らしております。自転車週に二、三回

▼一ノ瀬 春男 (41 L)

これからも皆さん元気で活躍されますよう願っております。

▼佐藤 陸三 (20 K)

高齢となり体調不良の為退会させて頂きます。長い間お世話になりました。

▼五十嵐 清夫 (33 K)

コロナの第七波がこないことを祈っています。

▼渡辺 又雄 (35 K)

地域ボランティア活動で元気に過ご

していただきます。(高齢者外出支援、買い物、通院等の送迎)

## ▼石田 義春(37C)

久しぶりの芋煮会のご盛会をお祈り致します。ここ茨城は、首都圏内で田舎ですがコロナ感染者多く、気持ち的にへこんでおります。ひたちなか市は特に高止まりで県内のワースト5以内の連続。

## ▼小林 栄(49C)

You Tube channel『栄小林』を立ち上げました。作詞・作曲・編曲のオリジナル曲を動画と共にアップしてあります。よろしかったら見てください。

## ▼金田 五郎(42G)

連絡有り難うございます。場所が行きたいのですが連日コロナ感染者が市内で数百人、隣の藤沢市では五百人前後と多くの方に発生していますので中止します。今年も田舎に帰省は出来ていません。残念です。が、中学の同級生とは、以前よりも連絡が密になっていることに喜びを感じています。

## ▼田場川 善雄(27M)

今年の十一月に満九十歳になるので最後の参加を考えていましたが、高齢者施設に入居のため、コロナ問題から外出の制約もあるので残念ですが不参加です。役員の皆様ご苦勞様です。

## ▼江川 誠二(34M)

コロナ禍故、申し訳ないが総会は欠席させて戴きます。

## ▼斉田 宗平(36M)

コロナ禍の中、役員の皆様ご苦勞様

です。皆様にお会いする事を楽しみにしております。

## ▼川井 秀男(38M)

コロナが早く治まって、総会で皆さんにお会い出来るのを楽しみにしています。コロナに負けず頑張りましょう。

## ▼杉原 努(40M)

現在、椎間板ヘルニアの養生で遠出は避けております。勿論ゴルフも厳禁の身です。ご容赦願います。

## ▼田中 康王(41M)

ご無沙汰しております。三年振りの開会準備も大変だったと思います。ご盛会をお祈り致します。当方、元気でゴルフを楽しんでいます。

## ▼三国 鉄雄(44M)

千葉または茨城地区でのOBによるゴルフコンペ開催を希望します。

## ▼安部 茂(48M)

いつも案内等、お疲れ様です。神奈川県在住の同級生に連絡するも欠席との事です。今回、欠席させていただきます。申し訳ございません。

## ▼川口 昭次(61M)

お世話になっております。私は現在介護職員として、介護施設(サービスタ)付き高齢者住宅)で日々利用者様のお世話をしています。実は八月に新型コロナウイルス陽性者となり月末まで自宅療養していましたので、今回もイベントへの参加は見送らせていただきます。

## ▼遠藤 文夫(26E)

新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、集会および電車等の遠出は行かない、

い事にしていきますので、この度は不参加とします。

## ▼小檜山 忠(31E)

コロナ禍で大変ご無沙汰しています。今年は欠席いたします。

## ▼金作 等(31E)

小生、何とか元気にしております。役員の皆様には、大変なときに会の運営にご尽力いただき感謝申し上げます。小生ゴルフの方は、何とか頑張つて楽しんでおります。来春の東地区ゴルフコンペの開催を期待しております。

## ▼岡村 進(32E)

残念ながら体力的に参加出来ません。ご盛会をお祈り致します。

## ▼小檜山 昇(32E)

コロナ感染が縮小して欲しいですね。当分、電車での移動は控えます。通常生活異常なし。

## ▼渡部 真樹勇(35E)

脊柱管狭窄症手術の為出歩くのは遠慮しております。残念乍ら欠席です。

## ▼大越 靖彦(37E)

元気に過ごしていますが、新型コロナ感染が怖いので、芋煮会を欠席します。幹事さん、ご苦勞さんです。

## ▼星 陽一(40E)

精養軒で心身共に静養できるといいな。役員の努力に感謝!

## ▼渡部 芳雄(42D)

幹事ご苦勞様です。今後母校の為に宜しくお願ひ申し上げます。

## ▼金子 昌輝(32A)

いつもご苦勞様です。盛会を祈って

います。

## ▼小椋 義昂(32A)

月二回のゴルフを楽しみに、元気で頑張つていきます。

## ▼五十嵐 昭夫(35A)

傘寿になりましたが、昭和三十四年度応援団長は元気です。総会の盛会を祈ります。

## ▼小林 義明(38A)

いつも役員各位のご苦勞に感謝申し上げます。なかなか協力出来ず申し訳ありません。

## ▼宮河 悦子(45デ)

地域の新たな参加を促すイベントの企画や実行に携わり、時間等に余裕がなく参加出来ません。コロナ禍の中、感染に気をつけて思い出に残る懇親会になるよう祈つていきます。

## 編集後記

三年ぶりに本来の活動報告が出来ました。「総会」そして「芋煮とどう狩り&BBQ」、久々に皆さんと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今年度はコロナ禍以前の姿に戻って行事を予定しました。気軽に参加していただけると嬉しいです。会報への寄稿も宜しくお願ひします。いつでも良いです。事務局までお願ひします。文字数は写真一枚付で八百文字程度でお願いいたします。(田中記)